

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
じゅんばんに ならぼう	1	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア）</p> <p>○自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。（思・判・表A(1)エ）</p> <p>■出された課題に応じて、声をかけ合いながら順番に並ぶ。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア）</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。（A(1)エ）</p>	<p>○自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き取り、学習課題に沿って声をかけ合い、正しい順番で並ぼうとしている。</p>
絵を見て かこう つづけて みよう	1	<p>○第1学年に配当されている漢字を文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）</p> <p>○想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア）</p> <p>○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ）</p> <p>■絵に描かれた様子を文章に書く。</p>	<p>○第1学年に配当されている漢字を文章の中で使っている。（(1)エ）</p>	<p>○「書くこと」において、想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）</p> <p>○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけてる。（B(1)オ）</p>	<p>○絵の中から進んで書くことを見つけ、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。</p>

<p>ふきのとう</p>	<p>3</p> <p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■音読を聞き合い、感想を伝え合う。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科) ☆音読の様子を撮影し、見せ合う活動(ICT活用)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)</p>	<p>○場面の様子を表す言葉を手がかりに粘り強く物語の内容を確かめ、これまでの学習をいかして音読を工夫し、感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>図書館たんけん</p>	<p>1</p> <p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■図書館の本の並べ方の決まりや工夫を見つけ、発表する。 ☆図書館で読みたい本を探し、本の分類を学ぶ教材(図書館活用) ☆書架の様子や本の並べ方の撮影(ICT活用)</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)</p>		<p>○積極的に図書館の配架や本の並べ方を学び、学習課題に沿って自分の読みたい本を探そうとしている。</p>
<p>春が いっぱい</p>	<p>2</p> <p>◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■春を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、春のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科) ☆春らしい歌詞や、旋律などを楽しむ活動(音楽) ☆春を感じるものの撮影(ICT活用)</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。</p>

<p>日記を 書こう</p>	<p>4</p>	<p>◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■身近な出来事を日記に書く。 ☆学校生活や家庭生活、身近な自然や季節の行事などに目を向けさせる題材(特別活動、生活科)</p>	<p>○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。</p>
<p>ともだちは どこかな</p>	<p>5</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■目的に応じて大事なことをメモしながら聞き取る。 ☆必要なことについて、身近な人と連絡し合う活動(学校生活)</p>	<p>○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。(A(1)ウ) ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ)</p>	<p>○自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

<p>たんぼぼの ちえ</p>	<p>10</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■植物の知恵について書かれている文章を読み、感想を書く。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科)</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	<p>○「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)</p>	<p>○粘り強く時間的な順序を考えて内容を捉え、学習の見通しをもって読んだ文章の感想を書こうとしている。</p>
<p>かんさつ名人になろう</p>	<p>10</p>	<p>◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■観察したことを記録する文章を書く。 ☆育てている動植物を観察し、分かったことなどを記録する活動(生活科) ☆身近な動植物の変化や成長の様子への関心を育む題材(道徳、生活科)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○書くために必要な事柄を進んで集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、これまでの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。</p>
<p>いなばの 白うさぎ</p>	<p>2</p>	<p>◎神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ■神話の読み聞かせを聞き、感想を伝え合う。 ☆郷土への愛着を養う題材(道徳) ☆昔話や神話の本を図書館で探して読む活動(図書館活用)</p>	<p>○神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア)</p>		<p>○進んで神話の読み聞かせを聞き、これまでの学習をいかして感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>同じ ぶぶんをもつ かん字</p>	<p>2</p>	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>○第2学年までに配当されている漢字を読み、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>		<p>○積極的に第2学年までに配当されている漢字の読み書きに取り組み、学習課題に沿って、同じ部分をもつ漢字を見つけ</p>

<p>スイミー</p>	<p>9</p>	<p>◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■物語を読み、好きな場面について伝え合う。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)</p>	<p>○粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。</p>
<p>かん字の ひろば①</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■絵を説明する文を書く。</p>	<p>○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ○第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>○進んで第1学年に担当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>メモをとるとき</p>	<p>3</p>	<p>◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ☆気づいたことや分かったことをメモする活動(生活科、学校生活)</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを</p>	<p>○積極的に必要な事柄を集め、これまでの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。</p>

<p>こんなもの、見つけたよ</p>	<p>10</p>	<p>◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ■自分が見つけた「いいな」と思うものを友達に伝える文章を書く。 ☆身近な地域の特色や行事、施設などに目を向けさせる題材（生活科） ☆見つけたものを撮影する活動（ICT活用）</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ）</p>	<p>○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（B(1)イ）</p>	<p>○事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、読み手に分かりやすく伝える文章を書こうとしている。</p>
<p>あったらいいな、こんなもの</p>	<p>7</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■質問をし合うことを通して考えをまとめる。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（A(1)エ）</p>	<p>○粘り強く話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようとしている。</p>

<p>夏がいっぱい</p>	<p>2</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、夏のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科) ☆夏らしい歌詞や、旋律などを楽しむ活動(音楽) ☆夏を感じるものの撮影(ICT活用)</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。</p>
<p>お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし</p>	<p>6</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■お気に入りの本を紹介し合う。 ☆お気に入りの本を探す活動(図書館活用)</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>○進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。</p>
<p>雨のうた</p>	<p>2</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○詩を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■様子を想像しながら音読して、詩を楽しむ。</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>○「読むこと」において、詩を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>○粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読し、これまでの学習をいかして詩を楽しんで読もうとしている。</p>

<p>ことばでみちあんない</p>	<p>3</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ■友達と道案内をし合う。</p>	<p>○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 (A(1)イ) ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ)</p>	<p>○話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って相手を目的地に導く道案内をしようとしている。</p>
<p>みの回りのものを読もう</p>	<p>3</p>	<p>◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■身の回りの情報を集めて整理する。 ☆町探検(生活科) ☆見つけたものの撮影(ICT活用)</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 (C(1)ウ) ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)</p>	<p>○積極的に身の回りのものから重要な情報を読み取り、学習課題に沿って、考えを交流しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

書いたら、見直そう	2	<p>◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>■文章を声に出して読むなどして、見直す。</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>○「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)</p>	<p>○進んで文章を読み返し、学習課題に沿って間違いなどを正そうとしている。</p>
かん字のひろば②	2	<p>◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>■絵の言葉を使って、日記を書くように文章を書く。</p>	<p>○第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>○進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして日記を書こうとしている。</p>
どうぶつ園のじゅうい	10	<p>◎文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>○時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>■説明的な文章を読んで、考えたことを話す。</p> <p>☆働くことの価値や意味を理解する精神や、身近な動物に優しい心で接する態度を養う題材(道徳、生活科)</p>	<p>○文の中における主語と述語の関係に気づいている。((1)カ)</p> <p>○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>○「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア)</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)</p>	<p>○進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習をいかして、文章を読んで考えたことを友達と話そうとしている。</p>

かたかなのひろば	2	<p>◎片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>■絵の中の言葉を使って、文を作る。</p>	<p>○片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○進んで片仮名を使って書く語を見つけ、学習課題に沿って文を書こうとしている。</p>
ことばあそびをしよう	2	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)</p> <p>■言葉遊びを楽しむ。</p>	<p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)</p>		<p>○進んで、言葉の豊かさに気づき、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。</p>
なかまのことばとかん字	2	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>○第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ)</p> <p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>		<p>○進んで、言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って仲間の言葉を集めようとしている。</p>

<p>かん字のひろば③</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■絵を説明する文章を書く。</p>	<p>○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文の中で使っている。(1)ウ) ○第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>○進んで第1学年に担当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文章を書こうとしている。</p>
<p>お手紙</p>	<p>12</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を読み、登場人物に向けて手紙を書く。 ☆同じシリーズの本を図書館で探して読む活動(図書館活用)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ) ○文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)</p>	<p>○進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想を持ち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。</p>
<p>主語と述語に 気をつけよう</p>	<p>2</p>	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ)</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ)</p>		<p>○積極的に、主語と述語の関係に気づき、これまでの学習をいかして主語と述語に気をつけようとしている。</p>

<p>かん字の読み方</p>	<p>2</p>	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>○第2学年までに配当されている漢字を読んでいるとともに、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>		<p>○進んで第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字の異なる読み方に気をつけて読もうとしている。</p>
<p>秋がいっぱい</p>	<p>2</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■秋を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えた、秋のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科) ☆秋の風情が感じられる曲や歌を楽しんだり、景色を描いたりする活動(音楽・図工) ☆秋を感じるものの撮影(ICT活用)</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。</p>

<p>そうだんにのってください</p>	<p>8</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■グループで相談する。 ☆互いの困りごとを解決するために協力する題材(学級活動、生活科) ☆話し合いの様子を撮影し、自分や相手の話し方を見返す活動(ICT活用)</p>	<p>○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)</p>	<p>○積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</p>
<p>紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう</p>	<p>14</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ■おもちゃの作り方を説明する文章を読み、それをいかして書く。 ☆おもちゃを作る活動(図工・生活科) ☆説明するおもちゃの写真の撮影(ICT活用)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。 (C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 (C(1)ウ)</p>	<p>○進んで文章の中の語や文を選び出したリ、事柄の順序に沿って分かりやすく伝える書き表し方を工夫したり、学習の見通しをもっておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

<p>にたいみのことば、はんたいのいみのことば</p>	<p>2</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがある ことに気づき、語彙を豊かにすることができる。 (知・技(1)オ)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>		<p>○進んで言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って、似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとしている。</p>
<p>せかいーの話</p>	<p>1</p>	<p>◎昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■昔話の読み聞かせを聞く。</p>	<p>○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)</p>	<p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)</p>	<p>○進んで昔話の読み聞かせを聞いて伝統的な言語文化に親しみ、これまでの学習をいかして、おもしろいと思うことを共有しようとしている。</p>
<p>かん字のひろば④</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■数を表す言葉を使って、算数の問題を作って書く。 ☆足し算や引き算の問題作り(算数)</p>	<p>○第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>○進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。</p>

<p>みきのたからもの</p>	<p>10</p>	<p>◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■物語を読み、あらすじをまとめて紹介する文章を書く。 ☆教科書で紹介されている本を参考に、楽しく読める本を図書館で探して読む活動(図書館活用)</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ((1)カ) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 ((3)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)</p>	<p>○登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとしている。</p>
<p>お話のさくしゃになろう</p>	<p>10</p>	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考慮することができる。(思・判・表B(1)イ) ■絵から想像を広げて物語を書く。</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ((1)カ)</p>	<p>○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)</p>	<p>○事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って、物語を書こうとしている。</p>
<p>冬がいっぱい</p>	<p>2</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■冬を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えた、冬のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科) ☆冬の季節感が感じられる曲や歌を楽しむ活動(音楽) ☆冬を感じるものの撮影(ICT活用)</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

<p>ねこのこ おとのはなびら はんたいことば</p>	<p>2</p>	<p>◎詩を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩を楽しんで読み、お気に入りの詩をカードに書いて交流する。 ☆友達に贈る詩を図書館で探す活動(図書館活用)</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)</p>	<p>○「読むこと」において、詩を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>○詩を読んで感じたことを進んで共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。</p>
<p>かたかなで書くことば</p>	<p>2</p>	<p>◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■絵と対応する文を書く。</p>	<p>○片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使っている。(1)ウ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○積極的に、片仮名で書く語の種類を知り、これまでの学習をいかして、片仮名を使って文を書こうとしている。</p>
<p>ことばを楽しもう</p>	<p>1</p>	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ■言葉遊びを楽しむ。</p>	<p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。(3)イ)</p>		<p>○積極的に、言葉の豊かさに気づき、学習課題に沿って言葉遊びを楽しもうとしている。</p>
<p>ロボット</p>	<p>12</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ◎文章を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■ロボットについて説明する文章を読み、考えたことを伝え合う。 ☆ロボットを紹介している本を、図書館で探して読む活動(図書館活用) ☆ロボットについてのインターネット検索(ICT活用)</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ○「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>○文章を読んで、感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

<p>ようすをあらわすことば</p>	<p>4</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。 (知・技(1)オ) ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■様子を表す言葉を使って文を書く。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○進んで身近なことを表す語句の量を増やして語彙を豊かにし、学習課題に沿って、様子を表す言葉を使って文を書こうとしている。</p>
<p>見たこと、かんじたこと</p>	<p>6</p>	<p>◎詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。 (知・技(1)オ) ■経験したことを基に詩を書く。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p>	<p>○「書くこと」において、詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ)</p>	<p>○粘り強く身近なことを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。</p>
<p>カンジーはかせの大はつめい</p>	<p>2</p>	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>○第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。(1)エ)</p>		<p>○積極的に第2学年までに配当されている漢字を読んだり書いたりし、これまでの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

<p>すてきなところをつたえよう</p>	<p>10</p>	<p>◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■友達に手紙を書いて届ける。 ☆よりよい人間関係を築くのに資する題材(生活科・道徳)</p>	<p>○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。</p>
<p>スーホの白い馬</p>	<p>14</p>	<p>◎文章を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を読み、最も心を動かされたことについて、感想を交流する。 ☆世界の文化や風土などに親しむ題材(道徳)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>○文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習課題に沿って、最も心を動かされたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>かん字の広場⑤</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■絵の様子を説明する文を書く。</p>	<p>○第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)</p>	<p>○「書くこと」において、語と語の続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○進んで第1学年に担当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。</p>

<p>楽しかったよ、二年生</p>	<p>8</p>	<p>◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■心に残ったことを発表する。 ☆1年間の生活を振り返り、心に残った経験などを紹介する活動(特別活動・生活科) ☆1年間を振り返り、自分の成長を実感させる題材(生活科) ☆練習時の様子の撮影(ICT活用)</p>	<p>○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ)</p>	<p>○行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を粘り強く考え、これまでの学習をいかして発表しようとしている。</p>
<p>二年生をふりかえって</p>	<p>1</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語の学習活動を振り返って書く。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にして。(B(1)ア)</p>	<p>○進んで、経験したことなどから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりし、これまでの学習をいかして、1年間の振り返りを書こうとしている。</p>